



宮城県職員（原子核工学）募集要項

令和5年4月21日
宮 城 県

令和5年度宮城県職員（原子核工学）採用選考考査を、次のとおり行います。

1 職種・採用予定人員・職務内容

職 種	採用予定人員	職 務 内 容
原子核工学	1人程度	環境放射線監視センター、原子力安全対策課、保健福祉事務所等に勤務し、原子核工学、環境衛生等の業務に従事します。

2 応募資格

次の(1)及び(2)の要件を満たす人

- (1) 昭和63年4月2日以降に生まれた人で、学校教育法による大学（短期大学を除く。）を卒業若しくは令和6年3月31日までに卒業する見込みの人又はこれらと同等以上の経歴を有すると認められる人
- (2) 放射性同位元素等の規制に関する法律第35条第1項に規定する第1種放射線取扱主任者免状を有する人又は同法第35条第2項に規定する第1種放射線取扱主任者講習の受講資格を有する人若しくは令和6年3月31日までに受講資格を取得する見込みの人
- (3) 次のいずれかに該当する人は、(1)及び(2)の要件を満たしても応募できません。
 - ① 日本の国籍を有しない人
 - ② 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの人
 - ③ 宮城県職員として懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない人
 - ④ 日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した人
 - ⑤ 平成11年改正前の民法の規定による準禁治産の宣告を受けている人（心神耗弱を原因とする人を除く。）

3 考査の実施時期・考査種目・考査会場

考査の実施時期		考査種目	考査会場
第一次考査	令和5年6月18日(日)	教養考査 (択一式)	受考地として仙台を選択した場合 下記又は次ページの4か所の考査会場のうち、 いずれかを受考票で指定します。 ・宮城県仙台南高等学校 (仙台市太白区根岸町14-1) ・宮城県工業高等学校 (仙台市青葉区米ヶ袋三丁目2-1)
	受付開始 9:00 着席時刻 9:40 終了予定 15:45	専門考査 (記述式)	

			<ul style="list-style-type: none"> 宮城県仙台三桜高等学校 (仙台市太白区門前町9-2) 宮城県行政庁舎 (仙台市青葉区本町三丁目8-1) 受考地として東京を選択した場合 <ul style="list-style-type: none"> TKP市ヶ谷カンファレンスセンター (東京都新宿区市谷八幡町8) 受考地として大阪を選択した場合 <ul style="list-style-type: none"> TKPガーデンシティ大阪梅田 (大阪府大阪市福島区福島5-4-21 TKPゲートタワービル)
第二次 検査	令和5年7月10日(月) から13日(木)のうち の指定する日	適性検査 人物検査	<ul style="list-style-type: none"> 仙台市内

(注) 第2次検査の詳細については、第1次検査合格者に書面でお知らせします。

災害や新型コロナウイルス感染症等への対応について

- やむを得ない事情により検査日時、検査会場及び合格発表を変更する場合などの緊急のお知らせ、新型コロナウイルス感染症に関する注意事項などについては、宮城県職員採用試験情報トップページでお知らせします。
- 受考地として東京又は大阪を選択した場合でも、受考地が仙台となることがあります。その際は別途お知らせします。

宮城県職員採用試験情報トップページ



4 考 査 内 容

検査種目		内 容
第一次 検査	教養検査 (択一式)	公務員として必要な大学卒業程度の一般的知識及び知能についての筆記検査 (題数 50 題 時間 150 分)
	専門検査 (記述式)	原子核工学職として必要な専門的知識についての筆記検査 (時間 120 分)
第二次 検査	適性検査	職務を行うのに必要な適性についての検査
	人物検査	公務員としての適格性についての人物面からの検査 (個別面接)
資格調査		応募資格の有無、受考申込書に記入された内容の真否等についての調査

※ 筆記検査の出題は、日本語の活字印刷文により行い、解答も日本語でいただきます。

5 考査の配点及び合格者の決定方法

(1) 配点

職 種	第 1 次 考 査			第 2 次 考 査		総 合 得 点
	教 養 考 査	専 門 考 査	計	人 物 考 査	計	
原子核工学	100	100	200	200	200	400

※ 第 2 次考査の適性検査については、適否のみ判定し、得点化しません。

- (2) 最終合格者は第 1 次考査、第 2 次考査の結果を総合して決定します。
- (3) 各考査種目の得点は、原則として標準点化します。標準点とは、平均点及び標準偏差等を用いて算出するもので、受考者の点数は、おおむね 0 点から 100 点（人物考査については 200 点）に分布し、平均点は 50 点（人物考査については 100 点）となります。ただし、考査種目ごとの受考者数によっては、標準点化しない場合もあります。
- (4) 各考査種目において、それぞれの合格基準に満たない種目がある場合は、他の成績にかかわらず不合格になります。

6 考査の出題分野

(1) 教養考査（択一式）

出題分野
社会科学、人文科学、自然科学、文章理解、判断推理、数的推理、資料解釈

(2) 専門考査（記述式）

出題分野
原子核物理学（放射線、放射能）、原子炉工学

7 受考上の配慮

障害により、車椅子等を使用するなど、受考上の配慮を希望する人は、受考申込時に宮城県総務部人事課人事企画・研修班（電話(022)211-2227）に連絡してください。

8 専門考査の課題例

我が国で利用されている原子力発電用の原子炉について、次の(1)から(4)の問いに答えよ。

- (1) 現在利用されている燃料について、化学式及び核分裂連鎖反応の主体となる核種名も含め述べよ。
- (2) 多くの原子炉においては、冷却材に軽水が利用されている。なぜ、軽水が利用されているのか、燃料の核分裂連鎖反応に言及しながらその理由を述べよ。
- (3) 冷却材に軽水を使用している原子炉のうち、沸騰水型原子炉には、炉内の冷却材を強制的に循環させるために再循環ポンプが設置されている。この沸騰水型原子炉は、ポンプの回転数を変化させ炉心流量を制御することにより、冷却材の密度変化を制御することができることから、再循環ポンプの回転数により原子炉の出力を制御しているが、なぜ原子炉の出力を制御できるのか、その理由を述べよ。
- (4) 沸騰水型原子炉と同様に冷却材に軽水を使用している加圧水型原子炉には、(3)で示した再循環ポンプは設置されていない。それでは、どのように原子炉の出力を制御しているのか、加圧水型原子炉特有の制御方法を 2 つ挙げその概要について述べよ。

9 申込受付期間・受考手続等

＜＜原則としてインターネット（電子申請）により申し込んでください。＞＞

(1) インターネットで申し込む場合

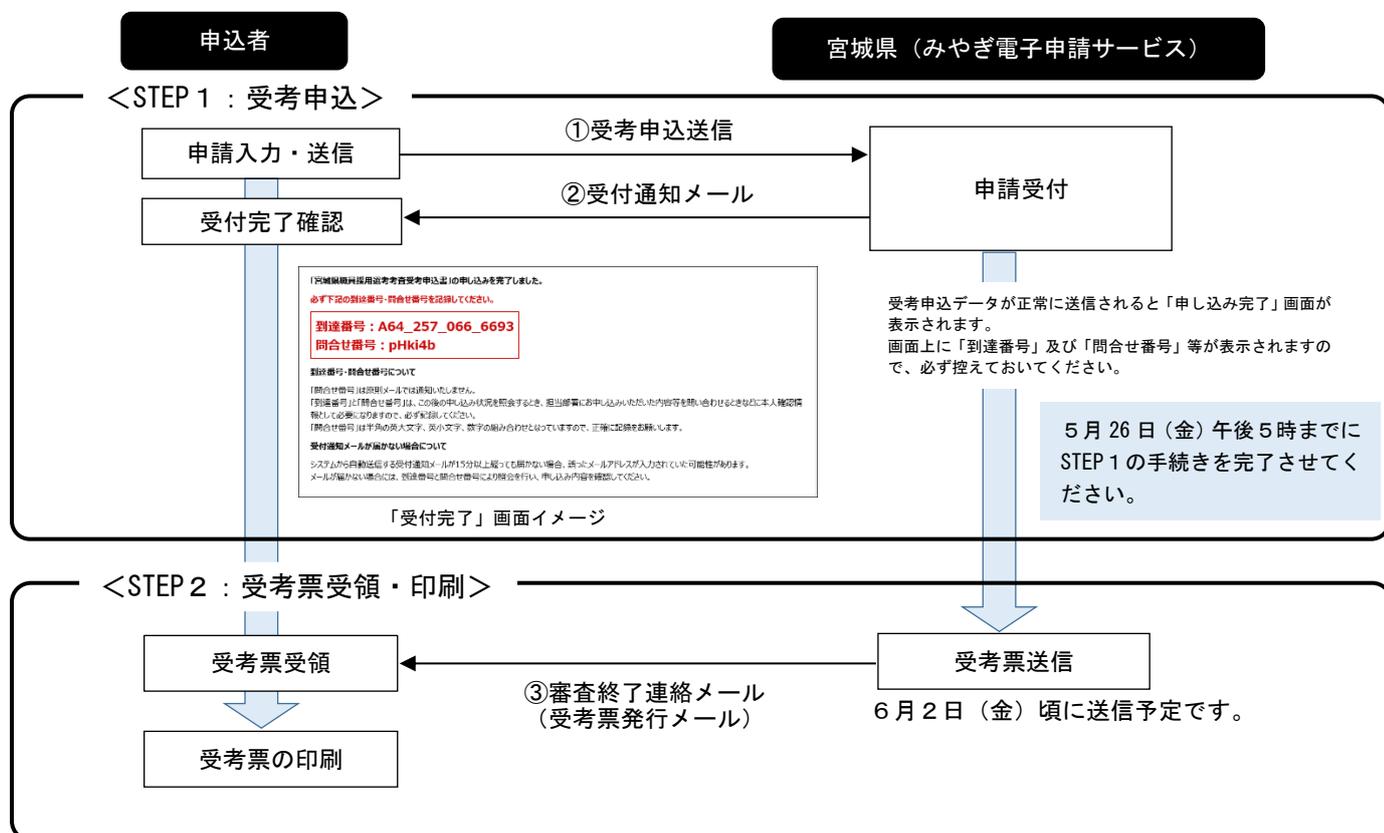
申込受付期間	令和5年5月2日（火）午前9時から5月26日（金）午後5時まで ※受考申込期間最終日は、みやぎ電子申請サービスへのアクセスが集中し、手続きに時間がかかる場合があります。また、通信回線の障害が原因であっても、申込受付期間を過ぎると受付できませんので、余裕をもって早めに申込手続を行ってください。
申込方法及び申込先	下記「電子申請フロー図」及び宮城県総務部人事課ホームページの「インターネットによる受考申込」などをよく確認の上、みやぎ電子申請サービス (https://www.shinsei.elg-front.jp/miyagi2/uketsuke/form.do?id=1681277158051)へアクセスし、申し込んでください。
受考票の交付	令和5年6月2日（金）頃に発行します。 「受考票」を電子メールで送付しますので、第1次考査当日に持参してください。

電子申請フロー図

宮城県総務部人事課ホームページの「インターネットによる受考申込」を必ず確認してください。

■インターネットによる申込みには、次のものがが必要です。

- ・パソコン又はタブレット端末若しくはスマートフォン（一部非対応機種あり）（携帯電話は不可）
- ・本人のメールアドレス
- ・A4サイズが出力できるプリンタ（コンビニのプリントサービスの利用も可）



(2) 郵送又は持参で申し込む場合（インターネットによる申込みができない人）

申込受付期間	<p>令和5年5月2日（火）から5月26日（金）まで</p> <p>（持参する場合の受付時間は午前9時から午後5時まで（土曜日、日曜日及び国民の祝日に関する法律に規定する休日を除く。）とします。郵送で申し込む場合は令和5年5月26日までの<u>消印</u>のあるもので、令和5年6月14日（水）までに宮城県総務部人事課に届いたものに限り受け付けます。）</p>
申込方法及び申込先	<p>次の書類を「宮城県総務部人事課」（〒980-8570 仙台市青葉区本町三丁目8-1）に提出してください。</p> <p>郵送で申し込む場合は、封筒の表に「<u>受考申込（原子核工学）</u>」と朱書して、「<u>簡易書留郵便</u>」等の確実な方法により郵送してください。</p> <p>なお、受考申込書は、郵便法（昭和22年法律第165号）上の信書に該当するため、郵送以外の方法で送ることはできません。</p> <p>① 宮城県職員採用選考考査受考申込書（所定の様式を使用し、<u>写真</u>を貼付したもの。）…………… 1部</p> <p>② 宮城県職員（原子核工学）募集要項受考票にある「受考用はがき宛名」及び「受考票」を点線に沿って切り抜き<u>63円切手</u>を貼付した郵便はがきの表裏にそれぞれのり付けしたもの…………… 1部</p> <p>※ 受考申込書及び受考票は宮城県総務部人事課のホームページ（https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/zinzi/）からダウンロードすることもできます。</p> <p>③ 最終学歴の卒業（見込）証明書又はこれに準ずるもの…………… 1部</p> <p>④ 応募資格の（2）に掲げる要件を満たすことを証する書類（第1種放射線取扱主任者免状の写し等）…………… 1部</p>
受考票の交付	<p>受考票は申込受付期間終了後に郵送しますが、<u>令和5年6月9日（金）</u>までに届かない場合は、宮城県総務部人事課人事企画・研修班（電話(022)211-2227）まで連絡してください。</p>

10 合格発表・採用時期等

- (1) 第1次考査の合格発表は令和5年6月29日（木）（予定）に、第2次考査の合格発表は令和5年8月中旬に、合格者の受考番号を宮城県行政庁舎1階に掲示します。また、宮城県職員採用試験情報トップページに掲載するほか、合格者に書面でお知らせします。
- (2) 最終合格者については、面接を経て、原則として令和6年4月1日以降に採用する予定です。ただし、第1種放射線取扱主任者講習の受講資格を取得する見込みの人は、受講資格を採用の時点までに取得することが必要です。

なお、既に大学を卒業しており、かつ、第1種放射線取扱主任者免状を有している人又は第1種放射線取扱主任者講習の受講資格を有している人については、令和5年10月1日以降に採用する場合があります。
- (3) 詳細については、宮城県総務部人事課人事企画・研修班（電話(022)211-2227）にお問い合わせください。

11 考査結果の提供

- (1) この考査の結果については、開示請求によらずに即日提供を受けることができます(下表参照)。
提供を希望する場合は、受考者本人が、受考票及び本人であることを証明する書類(運転免許証、健康保険の被保険者証、個人番号カード等)を持参の上、午前9時から午後5時まで(土曜日、日曜日及び国民の祝日に関する法律に規定する休日を除く。)に、下表の提供場所に直接おいでください。

なお、電話により考査結果の提供を受けることはできません。

提供を受けることができる人	提供内容	受付期間	提供場所
第1次考査不合格者	考査種目別の得点、総合得点及び総合順位	第1次考査合格発表日から1か月間	宮城県人事委員会事務局 (仙台市青葉区本町三丁目8-1 (県庁17階))
第1次考査合格者		最終合格発表日から1か月間	

(注) 第1次考査合格者のうち第2次考査を受考しなかった人には、総合得点及び総合順位は付されません。

- (2) 考査結果の提供についての詳細は、宮城県人事委員会事務局(電話(022)211-3761)にお問い合わせください。

12 採用時の給与

- (1) 環境放射線監視センターに配属された場合の大学新卒者の初任給は、給料の調整額及び地域手当を含め、おおむね次のとおりです。(令和5年4月現在)

職種	学歴	初任給
原子核工学	大学卒	(試験研究業務に従事する場合) 217,464円

- (2) 民間等における職歴がある場合は、一定の基準により職歴期間を加算の上、初任給が決定されます。
(3) (1)のほか、扶養手当、住居手当、通勤手当、期末・勤勉手当(年間約4.4か月分)等がそれぞれの要件により支給されます。

13 その他

この考査についての詳細は、宮城県総務部人事課人事企画・研修班(電話(022)211-2227)にお問い合わせください。

注意事項

各考査会場に駐車場はありませんので、自家用車での来場はご遠慮ください。特に、近隣商業施設等への無断駐車(送迎の待機等)は、絶対に行わないでください。
また、送迎であっても、近隣に長時間停車されますと周辺住民のご迷惑となりますので、乗降後は速やかに移動願います。